

東南アジアにおける農業協力対話の 取組と今後の予定について

平成 29 年 11 月

農林水産省大臣官房国際部

- 農林水産物の生産から消費まで各段階の付加価値をつなぐフードバリューチェーンの構築を推進。
- これにより、①我が国食産業の海外展開と成長、②民間投資と経済協力との連携による途上国の経済成長、③食のインフラ輸出と日本食品の輸出環境の整備、を推進。



「グローバル・フードバリューチェーン戦略（平成26年6月6日策定）」

〈基本戦略〉

- 産学官連携による戦略的対応（①食のバリューチェーンをつなぐ、②地域ごとの諸課題に連携対応、③日本の「強み」の構築と売り込み、④食のインフラ輸出の推進）
- 二国間政策対話、官民協議会等の枠組み構築 ● 経済協力の戦略的活用 ● コールドチェーン等の食のインフラ整備
- ビジネス投資環境の整備 ● 海外情報収集体制の強化 ● 相手国の人材の育成
- 現地ニーズに即した技術開発の推進 ● 海外展開のための資金調達の円滑化

〈地域別取組方針：ASEAN〉

- ①東西・南部の経済回廊等の物流ネットワークとの連携、②食品加工団地、コールドチェーン等の整備、③マレーシア等を拠点とするハラール食品の生産・流通販売網の整備、④経済連携等を通じたビジネス投資環境の整備等

「インフラシステム輸出戦略（平成29年5月29日改訂）」

〈地域別取組方針：ASEAN〉

ベトナムやミャンマーで行っている農業・食品分野の対話を他国でも実施し、フードバリューチェーン構築を中長期的な視野に立ち広域的に推進。また、主要大学における寄附講座の開設等による食関連産業の人材育成、食料安全保障ネットワーク構築（ASEAN+3緊急米備蓄等）をはじめとするASEAN全域ソフトインフラの展開、東アジア植物品種保護フォーラムを通じた植物品種保護制度の整備・調和等を推進。

我が国のASEANに対する農業・食品分野の協力 (二国間政策対話の推進)

農林水産省

○ASEANの6カ国との間で、官民合同で相手国との対話を実施し、各国における食のインフラ整備、ビジネス投資環境の整備等を推進。

ベトナム

「日越農業協力中長期ビジョン」を策定。モデル地域を設定し、フードバリューチェーン（FVC）構築のための取組（2015年～2019年）を実施中。

・日越農業協力対話
(第1回:2014.6、第2回:2015.8、第3回:2016.9)

タイ

日タイ両国の農林水産業・食産業分野における民間投資を促進するために、情報及び意見交換を実施。

・日タイ農業協力対話（第1回:2016.10）

ミャンマー

「ミャンマーにおけるFVC構築のための工程表（2016年～2020年）」を策定。工程表の進捗状況や課題を対話の中で議論していく。

・日ミャンマー農林水産業・食品協力対話
(第1回:2014.9、第2回:2015.7、第3回:2017.1)

カンボジア

日本企業がカンボジアで投資や事業を行う上での課題等について、カンボジア農林水産省内に設置された相談窓口を活用していく。

・カンボジア二国間フードバリューチェーン対話
(第1回:2015.12 第2回:2017.1)

インドネシア

日インドネシア双方政府の政策や取組、民間企業による取組を紹介。双方の官民による協力の中長期的な枠組を議論していく。

・インドネシア農業協力に関する二国間フォーラム
(第1回:2015.6、第2回:2016.11)

フィリピン

食料安全保障の強化及びFVC構築のために両国官民が協力し、農業・食産業の発展を図ることを確認。次回対話に向けて、FVC構築の課題と今後両国が取るべき対応の骨子の策定を目指す。

・日比農業協力対話（第1回：2016.3 第2回：2017.6）

日越農業協力中長期ビジョンによる取組例

1. 中長期ビジョン策定の意義

- 「日越農業協力中長期ビジョン」は、ベトナム農業の中長期的な課題解決を目的に、モデル地域における5年間(2015年～2019年)の行動計画等について策定。2015年8月の第2回農業協力対話において両国農相が承認。
- 日越農業協力対話を毎年開催し、中長期ビジョンのフォローアップを実施。

2. 行動計画の主な進捗状況(2017年9月まで)

① 生産性・付加価値の向上

■モデル地域(ゲアン省)

- ・「ベトナム北部中山間地域に適応した作物品種開発プロジェクト(2010年～2015年)」で開発されたイネの新品種を導入。栽培面積を拡大中。(2016年:約400ha → 2017年:700ha)
- ・老朽化した灌漑施設の改修を行う「ゲアン省北部灌漑システム改善事業」による工事に2016年1月に着手。



作物品種開発プロジェクト成果の導入



■全国横断的

- ・2016年3月より、漁業管理政策アドバイザーを派遣。
- ・2017年3月までに、無償資金協力により、ベトナム政府に対して漁業監視船4隻を供与。



供与した中古船

② 食品加工・商品開発

■モデル地域(ラムドン省)

- ・収穫した野菜の選別等による高付加価値化の取組を推進。
- ・日本としては、JICA「中小企業連携促進支援事業」による選果機の試験導入等を支援(2016年)。



トマト用選果機



③ 流通改善・コールドチェーン

■モデル地域(ハノイ・ホーチミン等大都市近郊)

- ・民間の取組により、冷蔵・冷凍倉庫の建設や低温流通体制構築に向けた投資が促進。



CLKコールドストレージ社の冷凍冷蔵倉庫(2016年完成)

④ 分野横断的な取組

■気候変動への配慮

- ・2017年6月、メコンデルタ地域における塩水遡上対策であるベンチェ省水管理事業(円借款)の交換公文(E/N)を署名・交換



完成イメージ

■高度人材の育成

- ・ベトナム国立農業大学(ハノイ)においてフードバリューチェーンに係る寄付講座を開講(2015年～)。



講義の模様

ミャンマーにおけるFVC構築のための工程表による主な取組(概要)

- 農業は自然と相手にする産業であり、諸課題について短期間に成果を得ることが難しいことから、中長期的視点を持って、優先順位を付けつつ基本的な事項から取り組んでいく必要。
- 「工程表」は、日ミャンマー両国の官民の取組を有効に連携させてミャンマーのFVCを構築・高度化することを目的に、
①品目別対策(米・豆類、園芸作物、畜水産物等)及び品目横断的対策(農業金融、農業資材、食品産業、研究・普及、種子等)について、今後5年間に取り組むべき項目を取りまとめたもの。
- 日ミャンマー双方による工程表の計画的な実施が、ミャンマー農業の包括的发展に大きく寄与。

【品目別対策】

■米・豆類

- ・品種の純化、赤米の除去、碎米率の低減、機械化推進
- ・圃場整備と併せた灌漑排水施設、農道等の整備
- ・中小企業金融を活用した精米設備更新 等

- 農民参加による優良種子増殖普及システム確立計画プロジェクト(エーヤワディー地域)
- 農業所得向上計画(サガイン地域) 等

■園芸作物

- ・優良種苗の供給、適正な農業・肥料の投入
- ・卸売市場の整備等による近代的流通システム確立
- ・民間投資によるコールドチェーン整備を含む品質管理向上 等

- 日系合弁会社による冷凍加工工場の設立(ネピドー) 等

■畜産

- ・人工授精による良質な畜種の安定供給
- ・コールドチェーンの整備による枝肉による取引
- ・口蹄疫等の家畜疾病の診断能力強化、ワクチン普及 等

■水産

- ・科学的調査による水産資源量の把握
- ・内水面養殖の改善(種苗、施設整備等)
- ・輸出に対応した品質管理、衛生管理体制の整備 等



【作物横断的対策】

■農業金融

- ・ミャンマー農業開発銀行(MADB)による機械・設備資金の拡充
- ・審査能力強化
- ・MADBの融資に対する信用保証の供与 等
- 中小企業ツーステップローン(全国)
- 農業農村ツーステップローン(全国) 等

■農業資材

- ・農業・肥料に関する法令の改善、実施細則の整備
- ・薬効分析及び残留農薬分析を行う分析施設の強化
- ・植物防疫行政に関する体制確立 等

■食品産業

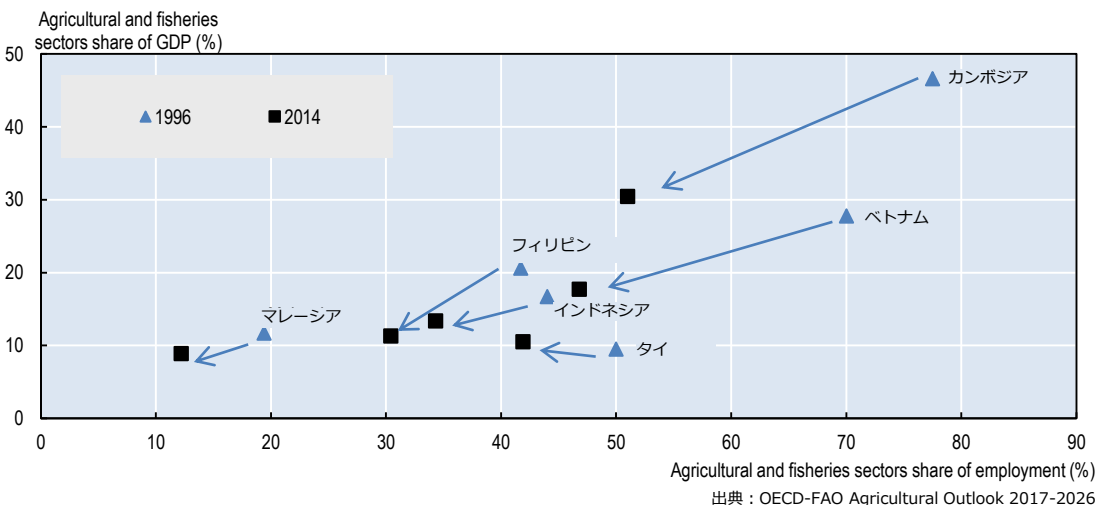
- ・中小企業金融、免税措置等の中小企業支援
- ・外国企業の投資促進 等
- 日系合弁会社による冷凍加工工場の設立(再掲) 等

■研究・普及

- ・研究と普及の連携、現場ニーズに応じた研究の実施
- ・普及員の増員、必要機材の配備
- ・国家普及実施計画の策定 等

- ASEANにおいては、GDPに占める農業の割合や農業従事者数は低下傾向であるが、カンボジア、ベトナムなどをはじめ、依然として農業が重要な位置を占める。
- 人口増加、気候変動への備えとしても、灌漑施設等の農業インフラの整備は重要。

GDPと労働従事者に占める農林水産業の割合

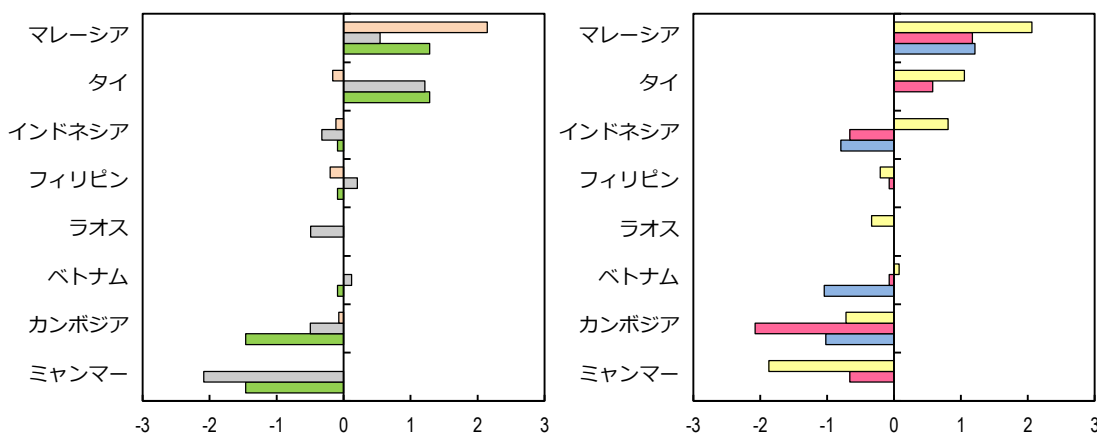


人口増加・気候変動の影響

- 人口の増加に応じた食糧増産の必要性
72億人（現在） → 96億人（2050年）
→2030年までに食糧需要が4割増大（FAO）
（ASEANの人口 6.2億人（2015年）→7.7億人（2050年））
- 気候変動による降雨パターンの不規則化等
アジア地域において、農作物の収量への気候変動の影響には不確実性がある。灌漑設備等は備えとして重要。
（「気候変動に伴うアジア・太平洋地域における自然災害の分析と脆弱性への影響を踏まえた外交政策の分析・立案」 外務省 H29.9）

農業の発展のために克服すべき課題（OECD-FAO）

環境規制 土地の権利 農業金融 基礎インフラ 農業インフラ 農業研究・開発



←それぞれの項目（課題）の各国の指標値を標準化して比較した図

我が国のASEANに対する農業・食品分野の協力 (二国間のODAによる取組)

農林水産省

○JICAを通じた二国間ODAは、円借款事業による灌漑整備と、技術協力プロジェクトによる施設の維持管理や営農の技術支援を組み合わせ、支援を実施。

ミャンマー

- ・ **バゴー地域西部灌漑開発計画**
- ・ **農業・農村開発ツーステップローン**
- ・ **中央乾燥地における節水農業技術開発プロジェクト (2013～2018)**
- ・ **バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト (2016～2021)**

ラオス

- ・ **サバナケット県における参加型農業振興プロジェクト (2017～2022)**

ベトナム

- ・ **ゲアン省北部灌漑システム改善計画**
- ・ **農民参加型水管理（ファンリーファンティエット農業開発プロジェクト フェーズ2 (2015～2019)**
我が国の土地改良区をモデルに、カウンターパート機関の能力向上、ガイドラインやマニュアル等の作成を通じ、農民参加型水管理システムの基礎を構築。
- ・ **北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト (2016～2021)**
高額な認定料が払えない農家にも適用可能な簡易的な認証システムである「Basic GAP」をベトナム北部2市11省に適用、普及。

カンボジア

- ・ **プノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良事業**
- ・ **流域水資源利用プロジェクト (2014～2019)**
- ・ **ビジネスを志向したモデル農協構築プロジェクト (2014～2019)**

農協振興に関わる中央の農業普及局や州の支援・実施体制の強化とともに、農協ビジネスネットワークの導入を通じ、農協の事業運営能力の向上を支援。



インドネシア

- ・ **ルンタン灌漑近代化事業**
- ・ **コメリン灌漑事業**
- ・ **官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト (2016～2020)**
高品質で安全な園芸作物の市場と農家をつなげる生産流通モデルの開発などを支援。これにより、農家所得の向上につながる生産流通システム近代化の進展に寄与。



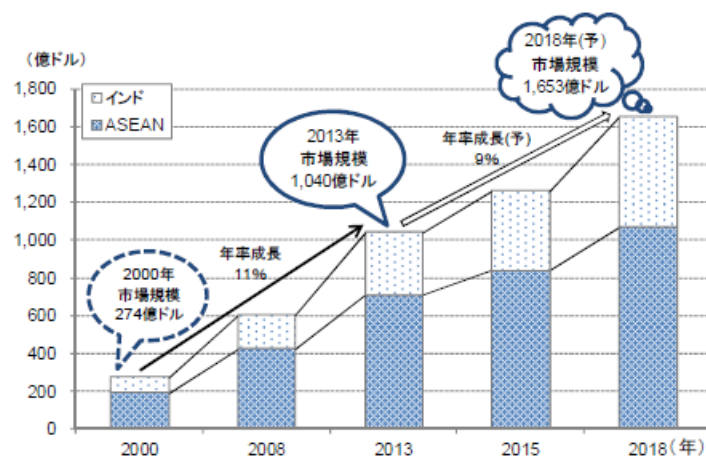
フィリピン

- ・ **灌漑セクター改修・改善計画**
- ・ **ムスリム・ミンダナオ自治地域 稲作中心営農技術普及プロジェクト (2012～2018)**

赤：円借款事業
青：技術協力プロジェクト

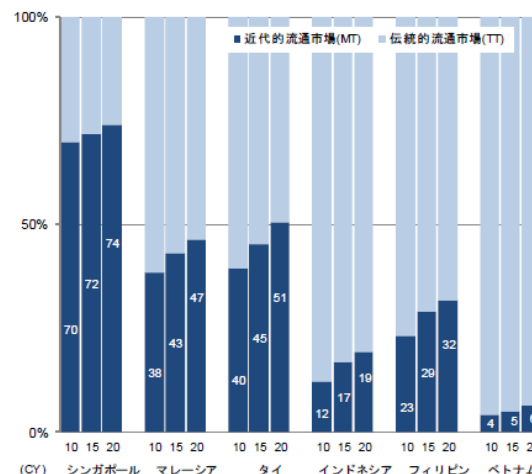
- ASEANでは、経済発展に伴い、食品市場の拡大が続くと見込まれている。
- これに伴い、食品流通の近代化、コールドチェーンの整備等が更に進むと予想される。

食品市場規模の推移予測



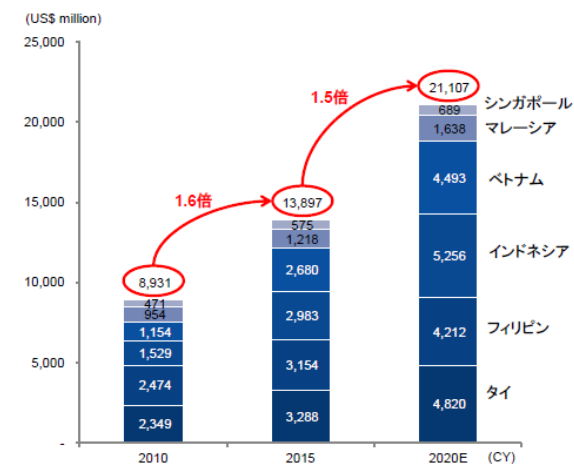
我が国食品関連企業のアジア諸国における事業展開事例等調査報告書（平成25年）農林水産省調査（大和総研委託）、Euromonitor International より大和総研作成

近代的流通市場（Modern Trade）の普及状況



出典：みずほ銀行

コールドチェーンの潜在市場



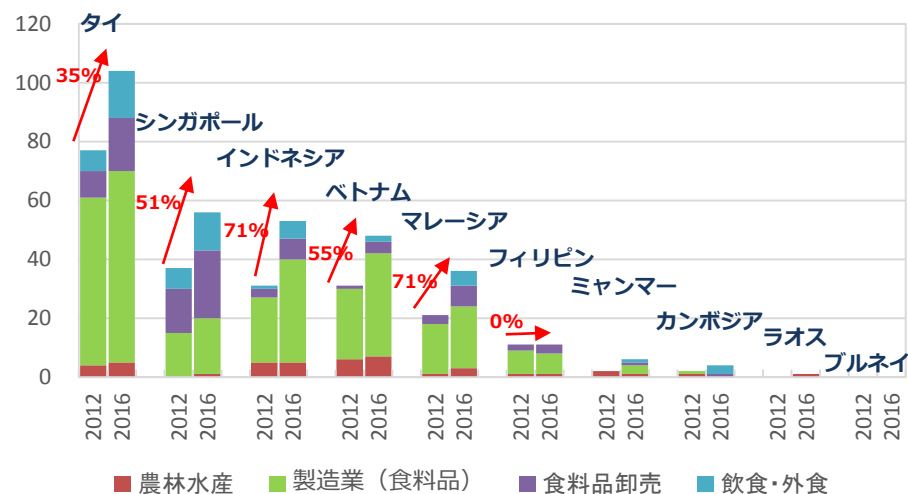
出典：みずほ銀行

- ・トラディショナルトレード（TT）：小さな個人雑貨店等、伝統的な小売業態のこと
- ・モダントレード（MT）：スーパーマーケットやコンビニエンスストア等、近代的な小売業態のこと

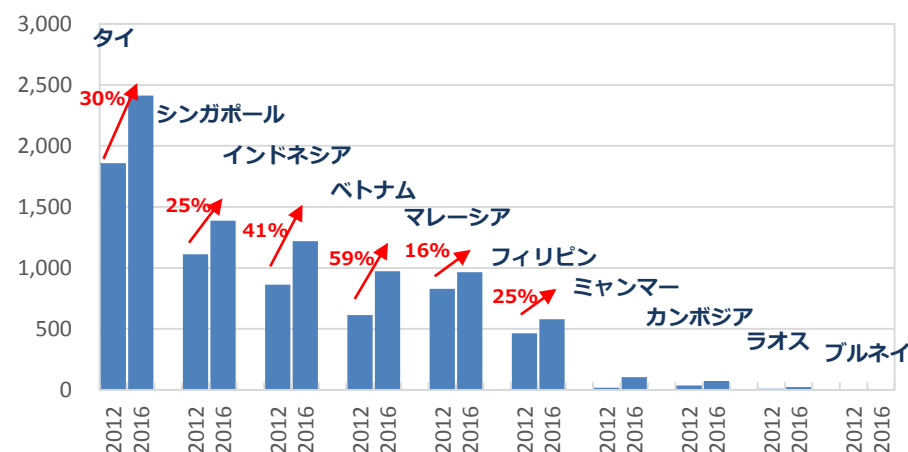
- ASEAN各国への日系企業進出数は着実に増加。
- 農業・食品産業では、食料品製造業の進出数が多く、飲食・外食分野も増加率は大きい。

ASEAN諸国における進出企業数の推移

農業・食品産業



全産業



	タイ		シンガポール		インドネシア		ベトナム		マレーシア		フィリピン		ミャンマー		カンボジア		ラオス		ブルネイ		ASEAN	
	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016	2012	2016
農林水産	4	5	0	1	5	5	6	7	1	3	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	20	24
製造業（食料品）	57	65	15	19	22	35	24	35	17	21	8	7	0	3	1	0	0	0	0	0	144	185
食料品卸売	9	18	15	23	3	7	1	4	3	7	2	3	0	1	0	1	0	0	0	0	33	64
飲食・外食	7	16	7	13	1	6	0	2	0	5	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	15	46
農業・食品産業	77	104	37	56	31	53	31	48	21	36	11	11	2	6	2	4	0	1	0	0	212	319

全産業	1,853	2,412	1,111	1,386	862	1,218	612	972	829	965	463	579	18	105	35	73	10	22	4	4	5,797	7,736
-----	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	----	----	----	---	---	-------	-------

東洋経済 海外進出企業総覧（2013、2017）を基に作成